

第 20 回 放送大学研究発表会

記念講演：「日本の生涯学習と放送大学～学習社会の現状と課題～」

講師 放送大学長 岩 永 雅 也 氏

【講演要旨】 日本では明治維新以来、教育、特に国民の知的レベルを上げ労働能力を高める公教育が重要視されてきました。その結果、日本は個々の能力が高くかつ平等性も高いという世界でも稀な社会になりました。「1億総中流」などという流行語も生まれました。しかし、1980年代中葉以降、新自由主義的風潮の中で教育の多様化が進み、絶対的だった学校教育が相対化されて生涯学習が重要視されるようにもなりました。今回は、そんな日本の生涯学習について、そしてその代表的機関である放送大学について、さまざまな角度からお話しをさせていただこうと思います。



自己紹介：1953年、温泉とお茶で有名な佐賀県嬉野生まれ。

東京大学大学院博士課程修了、博士（学術）。大阪大学助手、放送教育開発センター助教授を経て放送大学教授。2017年附属図書館長、2018年副学長、2021年より放送大学長。今年で放送大学在職35年。著書に『現代の生涯学習』『教育社会学概論』『創造的才能教育』『才能と教育』『大人のための「学問のススメ」』『発達科学の先人たち』など。オンライン授業では「キャリアコンサルティング概説」「生涯学習を考える」などを担当。趣味は馬、自転車、蝶、農作業等、多彩。

放送大学 研究発表（以下放送大学大学院令和6年3月修了者）

発表1 テーマ「1人1台端末の共同編集機能を活用した社会科における批判的思考育成
を目指した授業実践の考察」 朝倉一民氏

発表2 テーマ「公共図書館における書架分類の役割」 高木真美氏

日 時：2024年 **11月2日（土）** 受付12:30 開始13:00-17:00

会 場：放送大学北海道学習センター 6F 大講義室

札幌市北区北17条西8丁目北大構内(地下鉄北18条駅から徒歩10分～15分)

主 催：第20回放送大学研究発表会実行委員会 共 催：放送大学北海道学習センター

参加費：無料、ハイブリッド開催

問い合わせ先：e-mail juukichi1949@gmail.com FAX 011-215-8468 電話 090-2058-4453

Zoom：ミーティング ID: 870 5690 1431 パスコード: 659391

放送大学 研究発表 概要

発表1「1人1台端末の共同編集機能を活用した社会科における批判的思考育成を 目指した授業実践の考察」

朝 倉 一 民 氏（放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻情報学プログラム 修了）

概要：現在、小中学校ではGIGAスクール構想により、1人1台端末による授業が実現している。様々な教育アプリ・授業アプリの普及によりこれまでできなかった授業シーンが今では当たり前になってきている。その一つが「共同編集」機能であるが、これが子どもたちのどのような資質・能力の育成に寄与しているかは明らかになっていない。本論は「批判的思考力」に焦点を当て、1人1台端末の共同編集機能がどのように影響するかを検証したものである。

発表者プロフィール：

札幌国際大学教授 29年間札幌市の小学校教員を務め、教頭職を最後に、今年度より大学教授として赴任した。研究領域は教育工学、情報教育、社会科教育等。

発表2「公共図書館における書架分類の役割」

高 木 真 美 氏（放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻情報学プログラム 修了）

概要：本研究では、独自の書架分類を採用している公共図書館3館を対象に、文献調査と図書館員の訪問インタビュー調査を実施し、内容分析を行った。その結果、現代の公共図書館における独自の書架分類には、利用者と図書との出会いを創出し、新たな興味や創造的な活動に繋がる仕掛けとしての役割が求められており、その方策の一つとして独自分類が機能する可能性があることが推察された。

発表者プロフィール：

釧路短期大学准教授、司書、絵本専門士

1963年釧路市生まれ

1986年同志社大学法学部卒

2024年3月放送大学大学院修了